

戦後の日本

戦後改革

マッカーサー率いる
連合軍最高司令官総司令部（GHQ）の指令に従い
戦後改革が進められる

きよくとうこくさいぐんじさいばん
極東国際軍事裁判（東京裁判）
・戦争中に重要な地位にあった人を公職から追放

戦後改革②

にんげんせんげん
人間宣言・・・天皇は神であるという考えを否定
ざいばつかいたい
財閥解体・・・日本の経済を支配してきた財閥を解体
選挙法改正・・・選挙権が満20歳以上の男女に
のうちいかく
農地改革・・・政府が土地を強制的に買い上げ小作人に
安く売りわたすことで自作農がふえる
教育基本法・・・民主主義の教育の基本

日本国憲法

1946年11月3日に公布
文化の日
1947年5月3日に施行
憲法記念日

3つの基本原則

国民主権

基本的人権の尊重

平和主義

大日本帝国憲法と日本国憲法の比較

大日本帝国憲法

1889年2月11日
1890年11月29日
天皇が定める
天皇主権
統治権を持つ元首
各大臣が天皇を補佐
衆議院と貴族院
法律の範囲内で制限
国民に兵役の義務
規定なし
天皇の発議→帝国議会の議決

発布・公布
施行
形式
主権
天皇
内閣
国会
人権
軍隊
地方自治
憲法改正

日本国憲法

1946年11月3日
1947年5月3日
国民が定める
国民主権
日本国民統合の象徴
国会に連帯責任
衆議院と参議院
永久の権利
永久に戦争の放棄
規定あり
国権の最高機関、国の唯一の立法機関